

事務事業評価シート(平成21年度)

(ソフト事業)

(A面)

1 事務事業の概要 <Plan①>		担当課	課長名	記入者
		こども未来 課	越川 昌信	足立 徳昭
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
教育相談等生活指導関連事業		新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H20以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	多可町総合計画	(章) 2 笑顔でつつむ、あつたかいまち	(節) 1 のびのび育とう、育てよう	
	個別計画	(基本計画) 学校教育の充実		
根拠法令・条例・要綱等		事業区分(該当する区分に「○」)		
学習指導要領		<input type="radio"/> ソフト事業	施設の維持管理	
		<input type="radio"/> 義務的事業	内部管理事務	
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業	計画などの策定	
スクールアシスタント・スクールラブを配置し、教育支援を行う。 子供のよりよい発達のために、青少年センターと連携しながら、本人 またはその保護者や教員などに対して助言・援助を行う。		補助金の支給	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
		委託	全部委託	一部委託
		<input type="radio"/>	<input type="radio"/> 委託なし(全部直営)	

2 事務事業の目的 <Plan②>		
対象(働きかける相手・誰が・もの)	受益者(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
児童生徒	児童生徒・保護者	児童生徒の実態に応じた効果的な指導支援を行う。

3 事務事業にかかる予算細目 <Plan③>										会計名		一般		会計	
細目名 教育指導費				細目名 賃金											
予算コード	款	項	目	大事業	予算コード	款	項	目	大事業	予算コード	款	項	目	大事業	
	10	2	2			10	3	2							

4 事務事業実施にかかるコスト <Do①>						
事務事業・人員		単位	20年度 決算	21年度 実績(見込)	22年度 計画	備考 (全体事業費など)
総コスト		千円	16,644	16,644	22,865	
コストの内訳	直接事業費		15,149	15,149	21,600	
	所属内間接費					
	人件費	1,495	1,495	1,265		
投入人員	正職員 嘱託員	人/年	0.16	0.16	0.15	
財源内訳	国・県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源			16,644	16,644	22,865

5 事務事業の手段<Plan④>と活動指標 <Do②>								
事務事業を構成する業務		手段 (事務事業整理シートより)	活動指標 (手段の数値化)		単位	20年度 実績	21年度 見込	22年度 目標
1	SA・SLとの連絡調整	SA・SLが、発達障害や問題行動・不登校など特別に支援を要する児童生徒に適切な対応をし、授業や生活への指導を補助する。	配置数		人	14	16	21
2	相談業務		相談件数		回	5	200	240
3	SCとの連絡調整		配置数		人	3	3	4
4								
5								

(ソフト事業) (B面)

事務事業名 [教育相談等生活指導関連事業]

6 事務事業の実績 <Do③>		20年度実績	21年度実績(見込)	22年度目標	備考 (成果指標の考え方・計算方法)
成果指標(意図の数値化)	単位				
SA・SLの適正な配置	人	14	16	21	

7 事務事業の事後評価 <Check>		(ソフト事業)				担当の把握している課題	
チェック項目		該当項目に「○」					
必要性	需要への対応性	住民ニーズは	<input type="radio"/> 高い	<input type="radio"/> 高くない		把握なし	年々課題が増えており、緊急性のある課題も多い。
		緊急性は	<input type="radio"/> 高い	<input type="radio"/> 高くない			
	利用者・対象者数は	<input type="radio"/> 増加	<input type="radio"/> 減少		横ばい		
	他市町と比較して対象者に見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある		把握なし		
町の関与の必要性	民間の事業(サービス)との競合は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある				
	国や県の事業(サービス)との重複は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある				
妥当性	サービス水準の妥当性	事業開始時から社会環境の変化は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある			
		環境変化によるサービス水準の見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある			
		他市町と比較してサービス水準の見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある		把握なし	
	連携の可能性	他課で類似の事業は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある			
他の事業と統合できる可能性は		<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある		あるが困難		
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある			
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある			
		サービス向上の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある			
		受益者負担を見直す余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある			
有効性	目標の達成度	成果指標が明らかで	<input type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない			
		前年より成果が上がって	<input type="radio"/> いる	<input type="radio"/> いない		横ばい	
	持続の可能性	継続することによる効果は	<input type="radio"/> 高い	<input type="radio"/> 高くない			
		世代間負担の公平性、社会的平等性が保たれて	<input type="radio"/> いる	<input type="radio"/> いない		測定困難	
市場化の可能性	既に全部委託済	更なる委託化が可能である		委託化の余地があり		<input type="radio"/> 委託化は不可能	
	市場化テストの導入について検討する余地がある			市場化テストの導入を検討する余地はない			
改善の可能性		1.改善の余地はない		<input type="radio"/>	2.改善の余地がややある		
		3.改善の余地が多い			4.抜本的な見直しが必要		

事務事業評価書

8 改善提案と今後の改善の方向性 <Action>教育相談等生活指導関連事業

職場からの意見(担当者)									
(課題の解決についての提案など) ・年々多様化する児童生徒の問題行動や保護者の子育ての悩み等に対し、需要はますます大きくなっている。 ・青少年育成センターと連携し、児童生徒保護者の悩み相談および支援指導を行っている。									
担当課長評価									
(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 学校園アドバイザーの配置により生徒指導、学校運営等における対応等の相談体制をとることにより、即応性・継続性のある対応ができるようになった。また、関係機関との連携を強化し、学校支援の体制の強化を図っていく。									
所管評価	1. 重点的に継続	○	2. 現状のまま継続	3.内容を見直しながら継続	4. 縮小を検討				
	5. 統合・連携を検討	6. 休止・廃止を検討	7.終了・完了	内部評価	4				
教育長評価									
(教育長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 効果が十分に見られるので、現状のまま継続していく。									
事業評価	1. 重点的に継続	○	2. 現状のまま継続	3.内容を見直しながら継続	4. 縮小を検討				
	5. 統合・連携を検討	6. 休止・廃止を検討	7.終了・完了						
評価コメント									
適応教室について、学校と同じく毎日開催できるよう検討を要する。									